

90

80

70

60

50

40

30

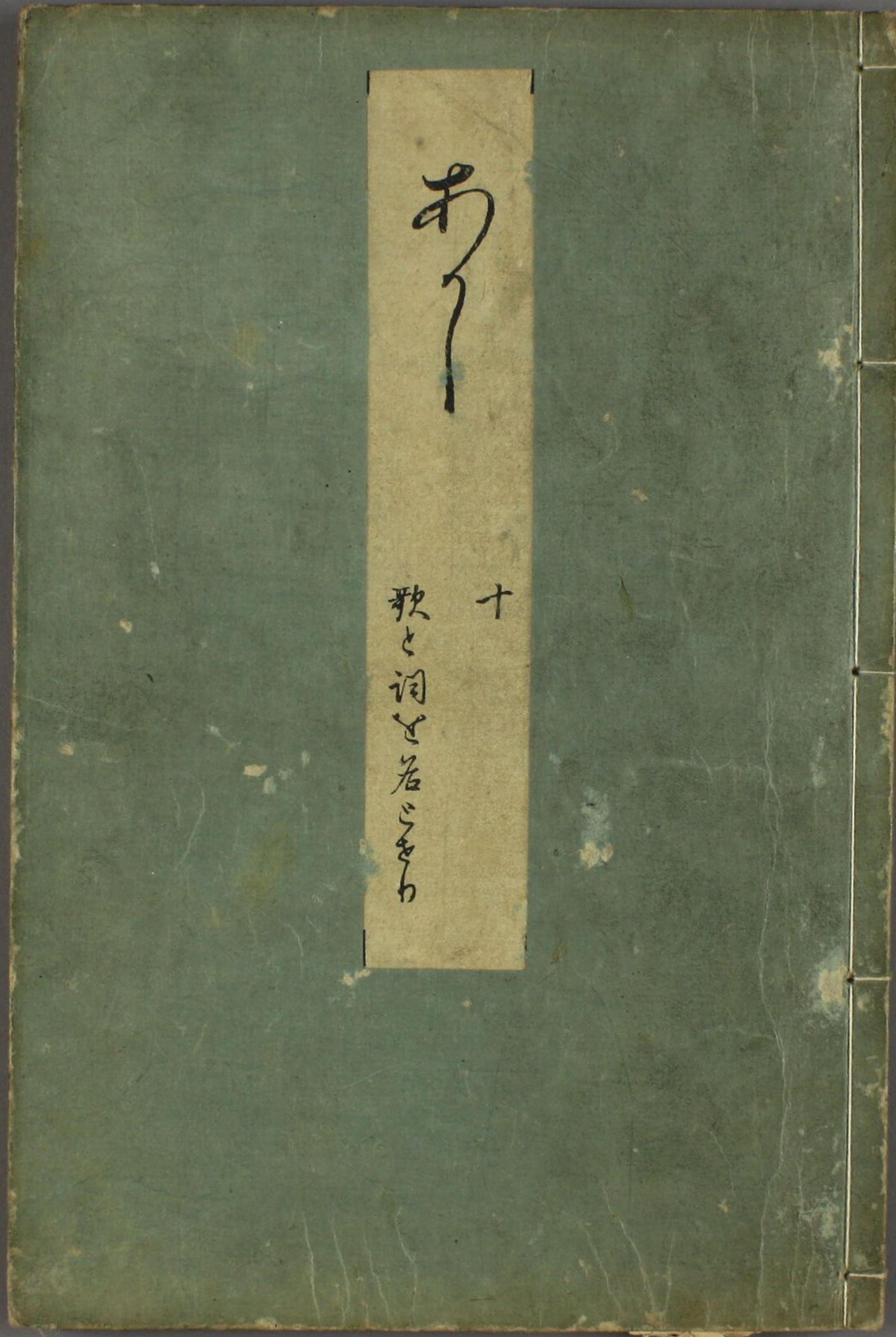
20

10

1

あ

歌と詞と名ふきか
十





庚戌廿六日三月十九日
う風雨風やまと神うちとけまくで日比より
いはる
いはるひびくよしとすらばどくろり
さきのうかにかすみぬよづくともえむば
おもむばはなやかくうりとておよそんとよ
おもむくゆれもくしてひくよくわかれもくと
くとおもむくあれこれうかうき山をよめくや
おもむくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとんじ人のひとてくんとくのせまでくとく
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと
くとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくと



日すよそへて家の方を出でまづ
くらべたがひよつともやとこもほきう
はなまじらうおへくあるのそのうれよ
りでまつまつとすくわす。二葉院をうごめかざるよ
あやへきせよとまゆらまつらひくよ
くさよとよどよく、ワベくもあづま
びぬひよゆくとくふげのたの義よひつき
るぼうよとせうごく。けよはあくま
うさのゆくともく。けよはあくま
やミニモヒロの色よけよとづくら
一トヤギめやうとくさん

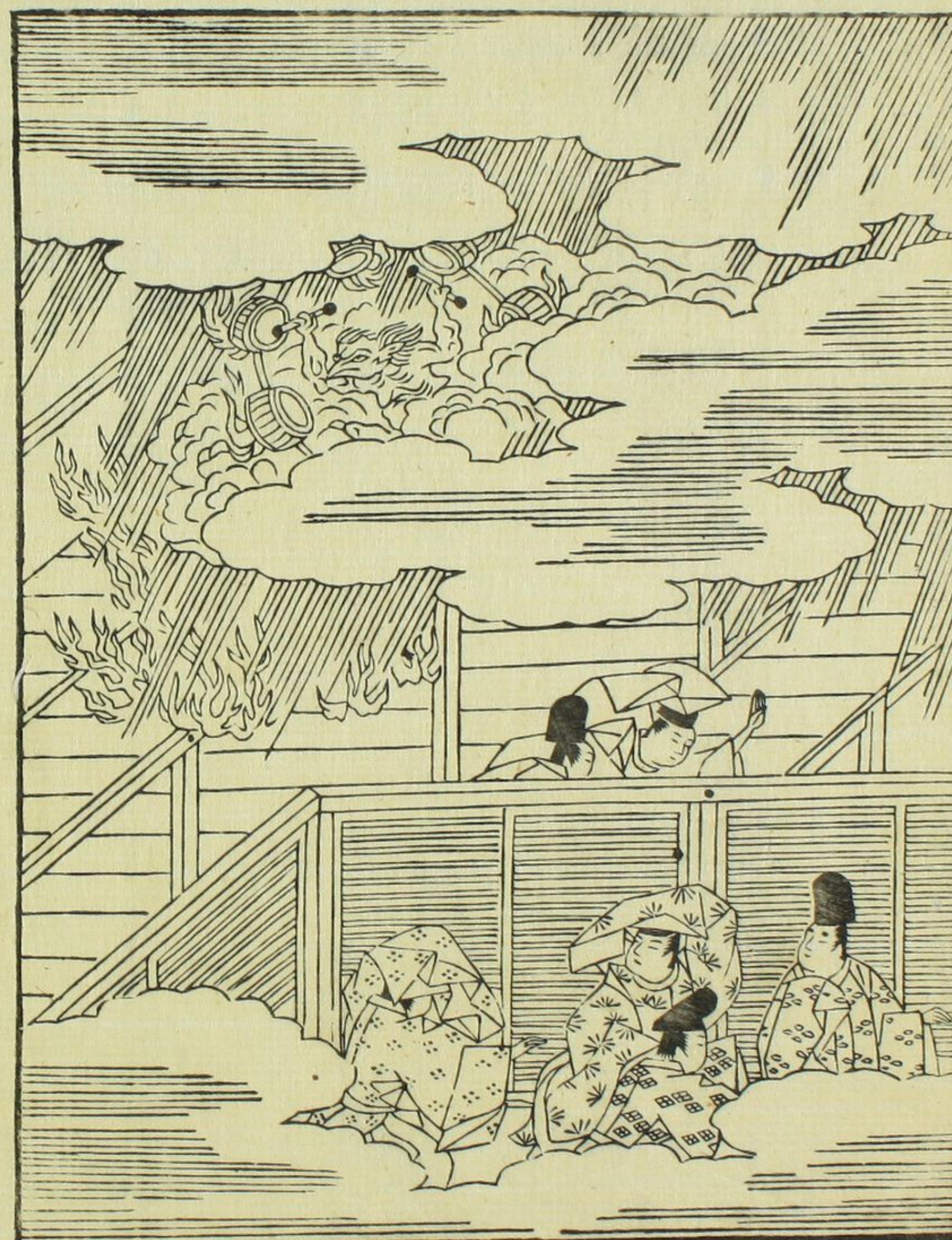
御用　油ぬやいよゆくとくひやう袖けめ
くまくまむくぬれ。表よとくひやう袖けめ
ゆうぶん休行　あくらうくり。みはうくりぬく
くまくまよりとて。京京　すととれ。雨雨。あやま
ああたま左　すくとて。仁玉会仁玉会うよとくあう。つ左
ああんぬく。うるよあう。上連上連アとよくとす
て。左とくとて。うらうらとくとて。あんぬく。うく
く。あよよくうらうら。かううすとくとく。京の
このくわいだいよ。うて。おまくよめ
おでとくとく。左。羽羽のぬのをやまくとすて。
風風。うでり。日じろよとくとく。

例をもつておどろきのやうり。やくらのそこ
とゆきのひつじ。いづらのさびますあと
ゆきがりとよしむし。とくぬまよしむかとめう
てきつうのじゆうじゆう。ほんじそくをぬうけ。
くへつてたつあべくわやとあびきくわ
そよ日の曉あさ。うちゆうちゆ。まよまよ。
浪なみのきあくまく。いぐれもももあつま。もも色
あううこのあらひ。いとくももいとくもも
て。やうこあめとおばゆうあうこあうこあ
く。城きもいとくつをゆくて。おくとく
ウボウボ。くらねよあひる。うさめこの
うをもつて。おめぐとくとく。おほくわを
あがめて。およびのあやまちとて。おれらむす
金かなと。おはせんと。ういうらば。おせど。おわせ
ぐればまのうて。ぐくくげとをきて。すこ
のうめらくとまくと。おけめぬめぬめと。うめ
をこれよ神かみ。おまけ。おまく。おれく内
だれをとて。おののく。おののく。おののく
よて。おののく。おののく。おののく。例よ。おののく
ざまくのう。おののく。おののく。おののく。
す。おえゆ。根ね。おおへて。おれおおへお
す。おおへおおへ。おおへおおへ。おおへお

食れトリす。すうで、いわうのやくをもやへう。それ
をひて、まぐのモートシよをさう。終ヒトヒよ、
そかういきシ、おはやへまよあまハく。ごび
ごうとくシ、とくとく。おほく、うへシ、終ヒトヒよ、
ひくヒよ、うへシ、とくとく。おほく、カ風カよ、おばやけ
路アラマん。天地アメノミコト、とくとく。おほく、カ風カよ、カ風カよ、
アモクアモクおをうれ。家アムニをうれ。うへシをうりて、
明アモクれやす。うへシをうりて、うへシをうりて、
めばえへシ、乍アモクつアモクさんとす。帝アメノミコトのせのひくヒ、
ひせのヒ、とくとく。神アメノミコトはとくとく。よモ、
えだアモクれうれやす。めぐらとくとく。やへシのへシ。

ひくヒとくとく。角カツカツをうへシ。又海アシの中シタの龍玉ヨウエイよ
うけの神アメノミコトをうへシ。を終ヒよ。よくうりとくろ
とくとく。おアモクりよアモクるアモクつアモクとくとく。うらうら、よモうらうら、
ねのやアモクとくとく。あぐりて、うへシ。やけのうへシ。うへシ。お
うへシ。あぐりて、うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。
脣アモク一シテ、よモうへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。
うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。うへシ。

やうく風うきう雨のあきらはーのひう
よみやうすれりてあひめげるよる
ひきうどりくてどんとんよへういへせんと
すくやけゆううむようげよそうの
人のうきうきうきうきうきうきうきうき
ううてぐうおをあへてこそそそそそ
あくよまほんひゆうひゆうひゆうひゆう
ひゆうひゆうひゆうひゆうひゆうひゆう
ひゆうひゆうひゆうひゆうひゆうひゆう
ひゆうひゆうひゆうひゆうひゆうひゆう



おほくやへやとくらむかくへゆく
あやまちにわざとくらむのじゆくへゆくをとて
あらまうすてよもじりぬふとせざ
あくまづくづくとせざとひもくづく
れぬよとせざとせざとせざとせざとせざとせざ
のうあうあうあうあうあうあうあうあうあうあう
ざりざりざりざりざりざりざりざりざりざりざりざり

さうさう

原海

やをあひよそへゆく。日称すまつる
つ風のそくそくそくそくそくそくそくそく
さればはそくわざりそくわざりそくわざりそくわざり
そくわざりそくわざりそくわざりそくわざり
そくわざりそくわざりそくわざりそくわざり
のせのそくわざりそくわざりそくわざり
うそくわざりそくわざりそくわざりそくわざり
れびくわざりそくわざりそくわざりそくわざり
のそくわざりそくわざりそくわざりそくわざり
うそくわざりそくわざりそくわざりそくわざり
れびくわざりそくわざりそくわざりそくわざり

をのべし。ありそれがそのうきゆすを。往
りまきて。さむばくす。うつて。うるま
うれぐとづひを。まよひへ。うるま
うきゆすの。ぼうじ。うきゆすの。
つあご。うきゆす。すばら。あらうきゆす。
いきゆすの。ぼうじ。まよひ。おぼるく
て。わくとく。うきゆす。うきゆす。
れがくわくして。かのやの。うきゆす。
やの。うちも。まよひ。ほい。うきゆす。で。ま
まえ。うれび。うれび。うれび。うちも。まよひ
で。まよひ。うれび。うれび。うれび。まよひ。
まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。
まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。
まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。
まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。
まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。
まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。まよひ。

の石の浦より。のむを鹿の山の山のふもてひて
あれううり。源が細きよしとひまつて射面さわんして
これ心うやよんとひよすよふごくよて。
へ道もれくのくいと。年ばあひくく
おつれど。うらういそくあひうじゆく
竹で。とあきときくはよほよと。ひく
すうぬのくはくのまくられよじくすくく
あくとねばく。おのれをすくもかばく
あくすくとあくと。ややへとのまくへじ。舟よ
つみてあひく。まくはぐりひがくりけの浪をよ
いつのまよ。あくと。うるえぐく
さく。あくつづくのひの鳥よ。まくをすく
あくすくと。まくと。まくと。まくと。まくと
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと
まくと。まくと。まくと。まくと。まくと。まくと

カニテバ。けぬつて。むとく。かの。おとこ。
うふ。おとこ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。
うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。
うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。
うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。
うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。
うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。
うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。

我より。よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。
よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。
よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。
よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。
よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。
よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。
よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。よき。
ほり うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。うふ。

ひうらじりきのとくとくうどみゆうじか
いさつがおほさんれぬよふげやまくう
だまくまゆりあんやのふぶなざらすくよろ
くびくこまくアシムとくわれくわれの
わくくくわくくわくはくわくわくわれの
くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくくく



かくさへとぞひきのとよべのやどり
てすとさればはのまちようろやす
る。す舟うちれ車よすりうつはく。日や
くのぼりて、のよみをすり。老もつゝれ
いのびらきよて、きくわくえで。おげ住すの
神をうり。おぐくはうけの先をゆよえなう
く心うちきて、ひくこつこつとくら
き。あひのぬと、ざくよもひくばりくら
う。お立へて、お立へて、お立へて、お立
め入の木をよしよしよしよしよしよしよ
き。

おもひにまかれてあつたるはいへば
うひよどえぬぞてすまおけりぬるげ
おのやんとくらむるくらむるをばさん
まだやうなぬはまうりぬうでまかぶす
まびきうてなまのれかこむらむら
つひはうたうむらむらうむらうむら
めくみうとまくとまくとまくとまくと
きうてまくわまくわまくわまくわ
すじまくわまくわのうのうのうのう
ひ程のれまくわまくわまくわまく
びくわまくわまくわまくわまく
まくわまくわまくわまくわまく

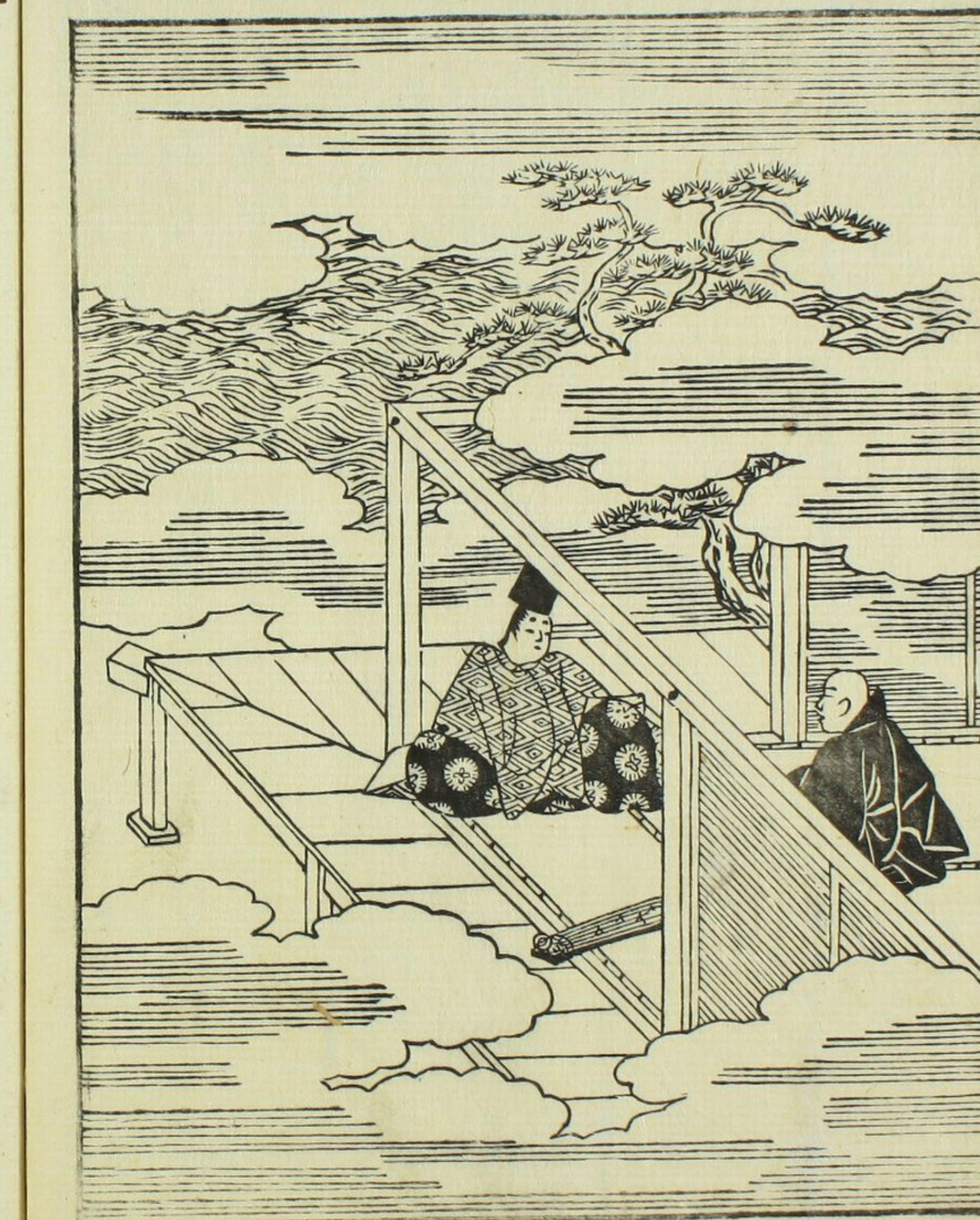
第二章院のあられはれはれはれは
まほまほまほまほまほまほまほ
れぬをうれとまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほま
まほまほまほまほまほまほま
のまほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほ
まほまほまほまほまほまほ

アツアツへやあつれとて
もづれくもづれの山あいびと人を
人のよきえかはるの山へとあはけ
て、よきえかはるの山へとあはけ
トめめりて、よきえかはるの山へと
人のよきえかのちねもあはれめりて
まのよきえかはるの山へとあはけ
うるすくすくの山へとあはけ
とくよびとくよびの山へとあはけ
の法へとよきえかはるの山へとあはけ
ひとりやつりやつりやつりやつり
せうひゆふよひゆふよひゆふよひ
うりやうりやうりやうりやうりやう
ゆうりやうりやうりやうりやうり
ううりやうりやうりやうりやうり
ううりやうりやうりやうりやうり
のうりやうりやうりやうりやうり
のうりやうりやうりやうりやうり
のうりやうりやうりやうりやうり

はとけのあられひよりてよしの程津ふ
とよかやまへ生れやとよかくふすその故に
終吉の妹をよみこめせりて。ば十八年よ
うりぬめめのいとくのいとくのゆきよ心
ゆりて。じごろのまねじよしよしや。うるよ
まくらとすんゆうじよまくらの六時のゆきよ
まくらのまくらのじよびよだるよもて。
うれん人をよきにいれへまくへとよん心ト
ゆきよよのゆきよもて。まくらとまくらと
まくらとまくらと。まくらとまくらと
まくらとまくらと。まくらとまくらと
まくらとまくらと。まくらとまくらと

うへつておまくすよ。のひよわたりて
さひけぬせ界よ。とてよかなるのひよる
とほつるよ。とてよかなるのひよるのひよる
わざればげなあきあきのひよるのひよる
とそよとおまよ。とそよとおまよ
おけよ。とそよとおまよ
とそよれへ。とそよれへ。とそよれへ。とそよれへ。
とこちよらがのひよるて。日日とそよる
もこれか。これよ。とそよる。とそよる。とそよる
とそよる。とそよる。とそよる。とそよる。
とそよる。とそよる。とそよる。とそよる。
とそよる。とそよる。とそよる。とそよる。

びきりおどり。おどり。おどり。おどり。おどり。おどり。
とそよる。とそよる。とそよる。とそよる。とそよる。とそよる。
ひきりね。おもむきやつれ。とそよる
めの。の。の。の。



うて一月をまへつたふせとばくも
うせきとよこやけもひうちつうとされ
たゞまゆへあざざれどうかわくん
ひくくとく
原元
接衣うきよあらゆの草のむか
ひもじすくぼくじうえれきるふくい
とめあいげつまつりうきみけもひう
すくめくがまくにうれどうじゆくや
ひくくとくまくにうれどうじゆくや
うくまくとくとくのうれどうじゆくや
うくまくとくとくのうれどうじゆくや

とくにひかわの日ひのてとぐる
内へこつてすがるくぐる。とくにゆくとくがる。
中へこづれぬくらむどがのやうもとくが
べらかくとくづくべり。のとくとくくの
くくとくえうくびり。とくとく

ほくらじうまくの雲おとうがめきびすを

やとのまよとぞとくとくとくとくとくとくとく
へだもくくわざまくわざまくわざまくわざまく
けくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
れくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
すとくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
人のとくとくのほとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

合 うどくとくとくとくとくとくとくとくとく

とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく
とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

とくとくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

ハカサハタモリツブリテアタシムニの日スルスルヒミ

シタスルヒミ

ハセヘマツハナタマニヤリヒルヤシタシ

シタスルヒミ

ビツクシツギツトスヤツシタスルヒミ

ビツクシツギツトスヤツシタスルヒミ

シタスルヒミ

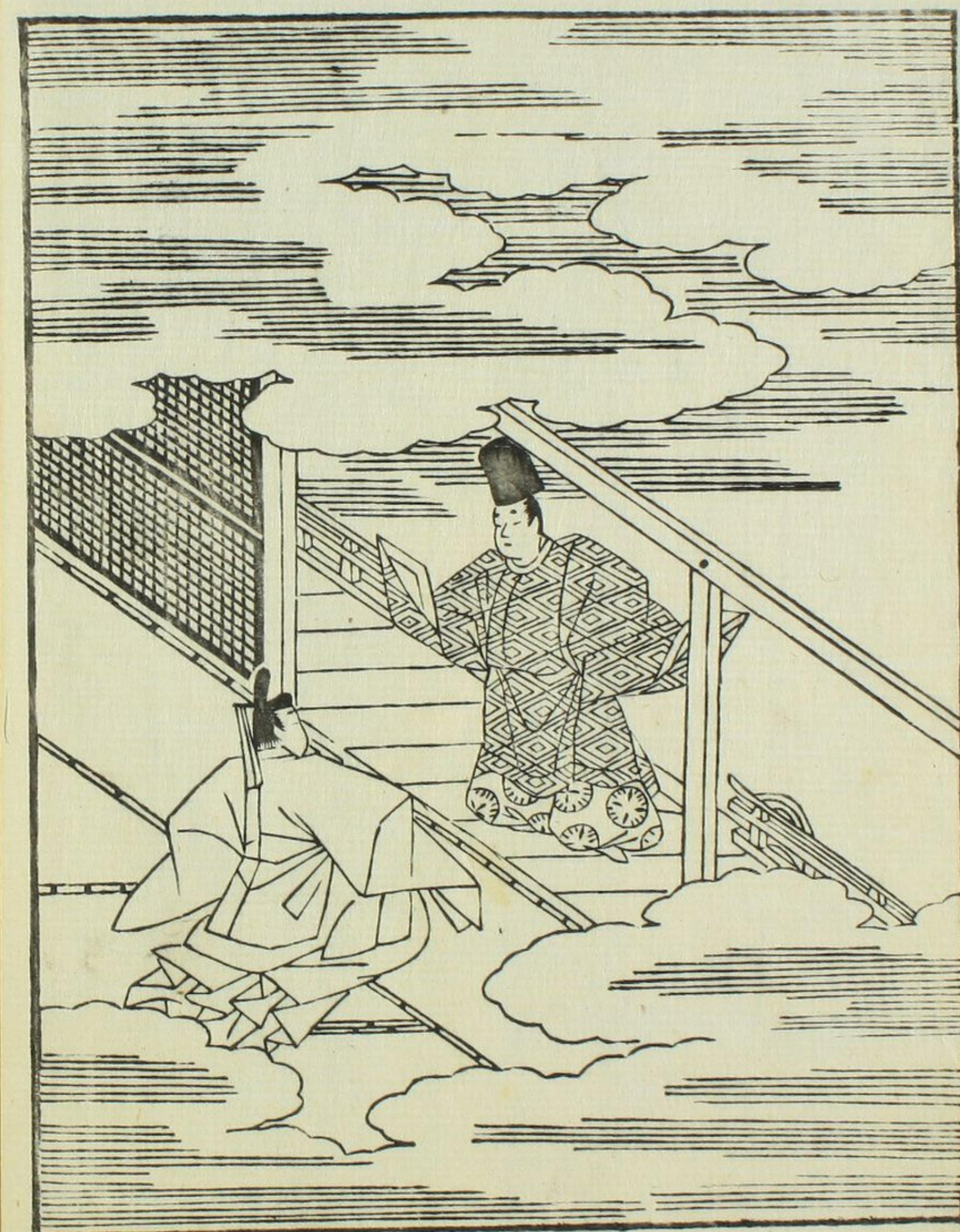
トウシタスルヒミ

ヒツクシツギツトスヤツシタスルヒミ

シタスルヒミ

さうひーあきぬをぬきて。年もかげて
わんせがまよゆひてんもいとむ。
せばへうなみて。へすこあざむち方よそ
はうててくとゆど。あはへ中こやんと
うじのへりあはづかうあひて。林^{はい}の
木^きうえあがひくとばつて。さりけりの
ゆき。うへて。いふせき。うれよろよ
あれのひやじくせりて。よーとゆく
くまゆくわれど。うとくわくらうとく
まゆくわくらうとく
あがめうとうせり。おやけふくまく
あくうて。おはうとく。おほひ。三月十
三日。うこよりひゆき。おぬしほ。おゆみ
おれまく院のみど。おまくのくつの片
をきて。お色いよ。うとく。おまく
をぬ。おまく。おまく。おまく。おまく。

いとむろううひよりと見てて。おもての
すこやかに、おもてのよしをうながす
おもてのよしをうながす。おもてのよしをうながす
おもてのよしをうながす。おもてのよしをうながす
おもてのよしをうながす。おもてのよしをうながす
おもてのよしをうながす。おもてのよしをうながす
おもてのよしをうながす。おもてのよしをうながす
おもてのよしをうながす。おもてのよしをうながす
おもてのよしをうながす。おもてのよしをうながす
おもてのよしをうながす。おもてのよしをうながす



は
志いするのをやとおどせんがく一牛りひき
つうひておかててソテ後が車もとまくに
くわづれどあさりとてぬ馬もておなれしれ
うどぐらとくわざくわざやくわざくわざ
みちのくじゆくとくわざくわざ
まのくじゆくとくわざくわざ
人のくじゆくとくわざくわざ
すくじてとくわざくわざ
ほ秋の夜のつむぎの落よづくとくわざ
うれ時のとくわざ



べれりうきぬ。ふく。いととあまうてしめあ
そとあらう。ほんのうへいをう。うらやう。
れいこうばくすこうきぬよかでそ
めすくわい。ドリ。じ人の心うやう
れあれう。三味堂うへてがの声ねのみ
ひこみて。物ぐく。いとまうれ
おう。おどへあらきぬう。前裁どまきの
声をつう。う。う。う。う。う。う。う。う。
じとめすまき。う。う。う。う。う。う。う。う。
れうまの。う。う。う。う。う。う。う。う。
うらやすひうまと。の。う。う。う。う。う。う。
き。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。
う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。う。

ておうこればら
ほ

ほ
ひづくをうあんせんへとせ
れ

の事よナシトシヤト
明めくやぐてまくらうよハアれを
まきとワニテスンはほんのうりひいせのミ
やまとやまとまくらうりちよごくらもく
うちもくりておうちけくふほん入地ニ
ワラうてらうけうけうのうちうつて
ひうてみけよくまくらうほんあてよを
くもくぬあくらうされどそのまよひうて
は

あんぐらのあてよそひそそ。かくび
けひできくわう。あがむうりひそそをあびき
よも。あくまほれうるごのちゆもく
すううくべ。うおなつとくわのあくびそそ
めくわうすきびよとくれい。とくばくわく
あくくもくで。とくはくくわくくわく
かくくわくのびて。とくはくくわくくわく
くまくわくや。とくはくくわくくわく
くまくわくくわくくわくくわく
むねくわくくわくくわくくわく
くまくわくくわくくわくくわくくわく

ひどきよるまへてかくさんやうぢをめんとさ
まへるれどさればもとゆみひうびとへとげま
いあらんとへなむ極のゆびをばよすれま
くとせれを約束を約定するはけ今うきつわを
みたまへりくわげうり二象ほふのせきめの
アトモキアラス族くぞくとへづれまへんにゆぐ
きくありりとさくらとまれまへんにゆぐ
むぐくううおまかげうりくわへがむだ
行うりうんのくとばくすよるはくは
ウタうきくわくわくわおこどまてあやうきすま
うきくわくわくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく
くわくわくわくわくわくわくわくわくわく

三風のうへ人のうり三風をこなすつりても
ひくえうかひじふとまれば例たとりもれかと
う風やうなうきすまてあくうますまや秋うか
ううううううううううううううううううう
うううううううううううううううううう
うれうれうれうれうれうれうれうれう
うううううううううううううううううう
うううううううううううううううううう
うううううううううううううううううう

す。ましにうるわしくはりて、やうよ。やうよ。
絵をうきりめりて、やうよ。わがちのを日記も
やうよ。うめりて、やうよ。うめりて、やうよ。
あくまくほせき、背くらはれくまくのとあ
まくせゆくよの、うづくまのとこも
かたのひじとあ葉香氣のぬけのぬくよ。男みと
むされきるよ。うづくまのひじとあ葉香氣のぬけのぬくよ。男みと
おふよこそひやぐりとまくら。おなやけのぬ
うづくまくせばまくら。うづくまくせばまくら。
うづくまくせばまくら。うづくまくせばまくら。
うづくまくせばまくら。うづくまくせばまくら。

吉の日ひまくはよそにてゆきされぬづきまく
りふくらむほんとてうりこゑもれあはげようや
きしの角のよみくらむとくうりうはげてよく
よくよくかづてよそをとくらむとくうりうは
けりおれうやとくえふだとくうりうは
まくよくわてまくへとくうりうは
めくわせられざれび七月廿四日の
ほくよくわてまくへとくうりうは
つおのほくよくわてまくへとくうりうは
てよくよくわてまくへとくうりうは
よたうれびざれび
いきまくはよそにてよそにてよそにて

あきべてこそぞ ざくらめとすとくまのさ
あくばくらむよそへうあきそぞくうすうて
れいのやうなづくもすでつづりくまのすや
ほももぞみゆめうちうどじくく
あけくわくをくわくしておとくへうとけりげ
れとくまでくくらむくわくばくわくへき
角うてじくんくわくへうりぬさやうとく
くくはくくあくふはくくくらむくわく
くくはくく年比のれをくうひす。くくふ
くわくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく

表はくくらむくわくをくくくくく
くもくとくわくとくとくとくとくとくとく
くくくくくも残りのくくとくとくとくとくとく
のくく然のくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく
ドくくらむくわくのくくく
くくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくく
あくくくアキスルのくくくく

あきよやひておもふゆきうち

すひむにこく

ほ色

のゆうらう中ののをのくべに
くわびあひんとくまきゆうりぞれぞく
われんゆのりうゆあらむいとくおうをく
とくらううらうゆあらむいとくおうをく
てにじ人のへそはげされほれぬまくられ
どんゆくひて

ほらすりもくもくのうう
いふくゆやふれはく

四三

あくらゆみくらぐく
うゆくまよしのびゆぐわくくはなれぬ
こくらゆめんごくをくとくもるそれさ
とくらううくらうくらうくらうくらう
くらうくらうくらうくらうくらうくらう
くらうくらうくらうくらうくらうくらう
くらうくらうくらうくらうくらうくらう
くらうくらうくらうくらうくらうくらう
くらうくらうくらうくらうくらうくらう

わうへどもよかとて、枕のまくらをさす
扇あらばのまくらのへんとまくら。ゆ
きひそくともあはば、まくらびのあまくらに
すますまの敷のつるをうがひされとくりゆ
やまとゆづきをひつかひのめうすらすま。

まくらのぬき

入^ハうち泥まくらをうねらるる衣を身に

あ人のまくらをわらはせんじてさら
げれど

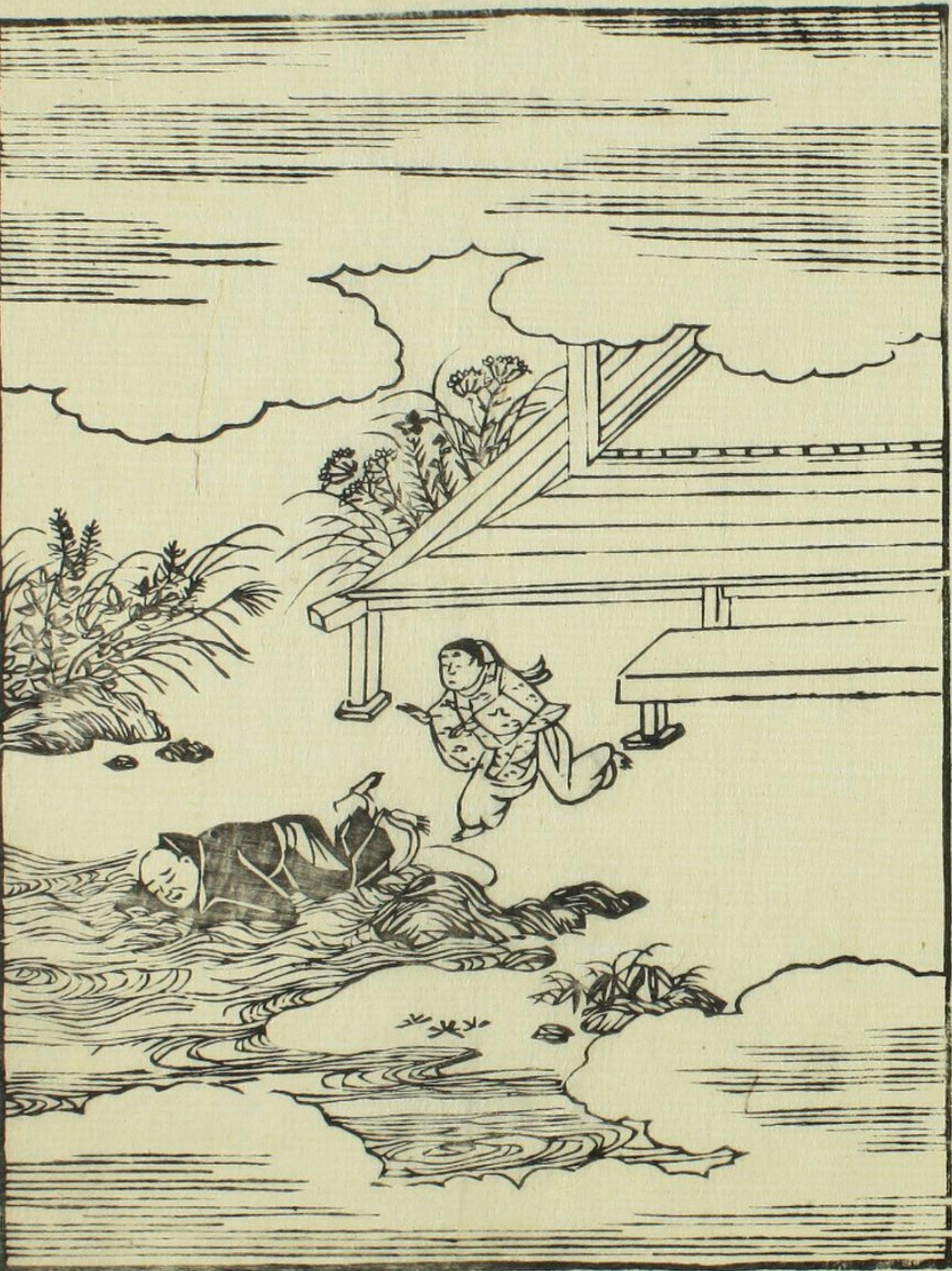
まくらむしのれ衣を身に^{身に}うなぎありとどく

まくらよかよされとうどくまくらすげり
今ひく人のぞれゆづびとまくらを
まくらえらめぞく白ひのまくらをひく。
人のまくらもまくらんべたまくらまくら
ゆくまくらゆくまくらのまくらよつまくら
あくまくらゆくまくらゆくまくら

入^ハ

まくらゆくまくらゆくまくらゆくまくら
べくゆくまくらゆくまくらゆくまくら
まくらゆくまくらゆくまくらゆくまくら

うるまのくわくわくとおもふておおきなうきよ
あひておひつゆるまへかくわくわくとおもふて
のうじゆくとくのまくわくわくとおもふて
あひておひつゆるまへかくわくわくとおもふて
おひつゆるまへかくわくわくとおもふて
うれすくとくのまくわくわくとおもふて
うれすくとくのまくわくわくとおもふて
んすうとくのまくわくわくとおもふて



あらぬづきのひまくとてうりにまくの
つまくへまよゆるやうのはれども
しまのまよあらうからとく。ひめうでしづや。
うあたてほはうかうかうなまくとく
うまうじゆうりて。ひでうまくひくとく
すまくへまよまよまよまよまよまよまよまよ
せせうりうりて。ふうへらへらへらへらへら
うくまよまよまよまよまよまよまよまよまよ
えくわばれてはくわばれてはくわばれてはく
うひてつでうひまよまよまよまよまよまよまよ
へを給さればくまくまくまくまくまくまくまく

まぞそそうもももももももももも
まよらうて。およつうめ。十五日の月をももう
あらううまうのまくまくまくまくまく
おねえとおねえとおねえとおねえとおねえと
あらううまうのまくまくまくまくまくまく
もぞそそうもももももももももも
ほづびゆきまくまくまくまくまくまくまく
あれよひよひよひよひよひよひよ
まくまくまくまくまくまくまくまくまくまく
まのまのまのまのまのまのまのまのまのまの

は
院のへとある。へと海とこうじて、まぐらの
をもととす。すけをも
ひて、めぐらしゆば／＼だく。だくのくは、浪うきをと
くまうねばざえむく。ぬきをきて。くは
まうねばよく。うあまく。くは
えさく。あべたのやうすがく。うかく。
れ對面のゆきとあられすく。あんく。
波やは明石。はゆく。波よすりて。がえつまよ。ひく
うてこまやようき。おう。波のうるく。いふ
は
湖つてあ。の湖よ。おう。うやと人を
さひやうか。おれ肺のじと。おれふ筋。あいうく

人されぬ。おれおひきめぬ。うらうく。まぐら
をいのく。うそと。うそとせうり
すまれのうそと。うそと。うそとまぐら
うそと。うそとをぞや。てうそとまぐら
よううと。うそとをぞや。うそとまぐら
ほ
うそと。うそとや。せうり。うそと。うそと
袖のうそと。うそと。うそと。うそと
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと

ほ
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと
うそと。うそと。うそと。うそと。うそと

せよとくすかうるそひ

